

平成30年度 教育研究業績書

氏名 松本 大

最終学歴	大阪大学大学院文学研究科博士後期課程文化表現論専攻修了	
取得学位	文学（博士）（大阪大学 2015・3）	
所属学会	中古文学会、和歌文学会、日本文学協会、大阪大学国語国文学会、 大阪大学古代中世文学研究会、東京学芸大学国語国文学会、 ヨーロッパ日本研究協会（European Association for Japanese Studies, EAJS）	
専門分野	中古文学	
研究課題	『源氏物語』を中心とする平安文学作品の享受・注釈書に関する研究	
授業科目	学部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・言語・文学（一） ・国文学講読（二） ・演習I（二） ・演習II（二） ・中古物語論 ・比較交流論I ・国文学特殊講義
	大学院修士課程 担当科目 （博士前期課程含）	
	大学院博士後期課程 担当科目	
	通信教育部担当科目	・平安文学論
【研究上の特記事項】	<p>研究対象は、『源氏物語』の注釈書・享受資料である。特に四辻善成『河海抄』を中心とする。</p> <p>研究の特色は、各地に残された各注釈書・享受資料の伝本調査を行い、本文系統の見直しを基盤とした上で、注記増補の特徴や性質、さらには注釈書成立の背後にある学問体系との関係を明らかにする点である。</p> <p>平成29年度～平成32年度科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金・若手B）、研究代表者。研究課題名「『河海抄』を中心とした室町期源氏学の動向と展開に関する基礎的研究」（課題番号：17K13402）。</p> <p>平成30年度～平成33年度科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金・基盤B）、研究分担者。研究課題名「近世において文庫を創設・形成した大名に関する総合的研究」（課題番号：18H00647）（研究代表者：前田雅之（明星大学））</p>	
【教育上の特記事項】	<p>授業においては、事前の自主学習が十分になされるように指導し、必要に応じて授業時間外に個別の質問等に答えるように配慮している。使用する資料等はあらかじめ配布し、予習・復習が効率よく、かつ充実したものとなるよう助言を行っている。演習科目については、学生同士の意見交換を積極的に促しており、問題・課題の把握とその解決方法の発見を、学生自身が主体的に行うことの出来る授業環境を心掛けている。また、週に一度、学生主体の自主勉強会も開催している。これらの成果により、平成30年度奈良大学教育貢献表彰を受けた。</p>	

<p>【社会的活動】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中古文学会関西西部会運営委員 ・ 和歌文学会委員（11月～） ・ 和歌文学会関西例会委員 ・ 和歌文学会関西例会事務局（事務局代表：石川一先生） ・ 大阪大学国語国文学会運営委員 ・ 人間文化研究機構国文学研究資料館共同研究員（研究課題名「鉄心斎文庫伊勢物語資料の基礎的研究」） ・ 第13回高の原カルチャーサロン・奈良大学国文学講座「吉野の文学」、「平安文学の『吉野』」担当
<p>【学内活動】 (学内職歴を含む)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入試委員会委員 ・ 図書館委員会委員 ・ 個人情報保護管理委員会委員 ・ 国文学科予算委員 ・ 書道部・顧問 ・ 奈良大学かるたサークル・顧問 ・ 仮面ライダー研究会・顧問

研究業績[著書、学術論文等]				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(学術論文)				
①冷泉家時雨亭文庫蔵『河海抄』の性格—『河海抄』巻十五論の前提として—	単	2018年10月	前田雅之編『画期としての室町一政事・宗教・古典学—』, 勉誠出版	pp. 485-507, 査読無
②宗祇『花鳥余情抄出』の位置付け	単	2018年12月	『むらさき』第55輯	pp. 51-71, 査読誌依頼論文
③『伊勢物語山口記』の現存伝本とその性格	単	2019年3月	『国文学 (関西大学)』第103号	pp. 111-126, 査読誌依頼論文
④『河海抄』における『李部王記』引用の再検討—角川書店版の本文をめぐる問題を基点として—	単	2019年3月	『学芸国語国文』第51号	pp. 96-115, 査読誌依頼論文
(学会発表)				
①『河海抄』の『李部王記』引用—『花鳥余情』から見る記事補入の可能性—	単	2018年7月21日	第291回大阪大学古代中世文学研究会	於：大阪大学, 査読無
②『花鳥余情抄出』と宗祇の源氏学	単	2018年10月27日	第293回大阪大学古代中世文学研究会	於：大阪大学, 査読無
③宗祇の源氏学における『花鳥余情抄出』の位置付け	単	2018年11月17日	中古文学会関西部会第51回例会	於：関西大学, 査読有
(その他)				
①科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金・若手B)・研究代表者	単	2017年度～2020年度	日本学術振興会	課題番号：17K13402 研究課題名：『河海抄』を中心とした室町期源氏学の動向と展開に関する基礎的研究
②学術研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金・基盤B)・研究分担者	複	2018年度～2021年度	日本学術振興会	課題番号：18H00647 研究課題名：近世において文庫を創設・形成した大名に関する総合的研究 (研究代表者：前田雅之 (明星大学))
③第7回池田亀鑑賞	単	2018年6月	池田亀鑑文学碑を守る会	受賞対象：拙著『源氏物語古注釈書の研究—『河海抄』を中心とした中世源氏学の諸相—』 (和泉書院, 2018)
④平成30年度奈良大学教育貢献表彰	単	2018年9月	奈良大学	
⑤時代を超える『源氏物語』の魅力	単	2018年6月30日	第7回池田亀鑑賞授賞式・記念講演会	於：日南町総合文化センター